

## 2024 年の世界の生乳生産量を 1.4%増、乳製品貿易量を 0.8%増と予測

FAO「食料アウトルック」2024 年 6 月号より

国連食糧農業機関(FAO)は、世界の農産物需給などの概況を見通す「食料アウトルック(Food Outlook)」報告書を毎年 2 回公表している。6 月 13 日に公表された最新報告では、2024 年の世界の生乳生産量を、前年比 1.4%増の約 9 億 7900 万トンと予測している。生乳生産量の増加は、効率的で乳量の多い大規模酪農場の増加や、インド、中国を中心にアジアでの乳牛頭数が増加していることによる。一方、世界の乳製品貿易量は、米国、新興国、および日本などでの需要回復により、2024 年には前年比 0.8%増の約 8530 万トン(生乳換算)に達すると予測している。中国の乳製品輸入は、主に国内生産の増加を反映してわずかに減少すると予測している。

主な食料生産の 2024~2025 年の見通しは良好であるものの、異常気象、地政学的緊張の高まり、急激な政策変更などの要因が、世界の微妙な需給バランスや価格、世界の食料安全保障に影響を及ぼす可能性があるとしている。

以下では、報告書の中から、乳・乳製品の市場動向とニュースリリースの概要を紹介する。

### 【食料アウトルック】(\*1)

#### 乳・乳製品の市場動向

2024 年の世界の生乳生産量は、約 9 億 7900 万トンになると予測され、主要産地に加え、インド、中国、パキスタンを中心にアジアでの生産拡大が見込まれ、前年に比べて 1.4%増加となる見込みである(表 1)。2024 年に予測される世界の生乳生産量の増加の大部分は、乳牛頭数

の増加およびより効率的で乳量の多い大規模酪農場の増加によるものである。世界の生乳生産量の増加予測は、発生するラニーニャ現象の影響が比較的穏やかであること、牧場出荷乳価が安定していること、穀物価格の緩和により飼料コストが低下することを前提としており、これらすべてが主要生産国・地域の酪農場の収益率の向上につながるはずである。一部の主要生

表 1. 世界の乳・乳製品市場の概観(\*1)

世界総量	2022 年	2023 年 (推定)	2024 年 (予測)	増減(%): 2024 年/ 2023 年
総生乳生産量(百万 t)	951.6	965.2	978.5	1.4
総貿易量(生乳換算百万 t) <sup>1</sup>	85.6	84.7	85.4	0.8
<b>1 人当たり消費量</b>				
世界(kg/年)	119.4	120.0	120.6	0.4
貿易のシェア(%)	9.0	8.8	8.7	-0.5
<b>FAO 乳製品価格指数</b> (2014~2016 年=100)	<b>2022 年</b>	<b>2023 年</b>	<b>2024 年 1~5 月</b>	<b>増減(%): 2024 年 1~5 月/2023 年 1 ~5 月</b>
	150	124	123	-8.4

産国・地域で予測される通貨変動や経済成長の鈍化などのマクロ経済的課題は、消費者の乳製品需要を抑制し、最終的には生乳生産の増加を抑制する可能性がある。

2024年の世界の乳製品貿易は、8530万トン(生乳換算)で、前年比0.8%増加すると予測される。この増加の一部は乳製品の国際価格が比較的低めであることと外食需要が回復することによる、メキシコ、フィリピン、サウジアラビア、

米国、アルジェリア、日本での需要回復によって支えられる。中国の乳製品輸入は、主として国内生産の増加を反映してわずかに減少すると予測される。オーストラリア、米国、ニュージーランド、アルゼンチン、英国は、競争力のある価格と豊富な生産能力を反映して、予測される乳製品輸入の増加の大部分に対応できる可能性が高い。

表 2. 乳製品の国際価格および FAO 乳製品価格指数(\*1)

期間	国際価格 (米ドル/t)				FAO 乳製品価格 指数 (2014~2016 年=100)
	バター <sup>1</sup>	脱脂粉乳 <sup>2</sup>	全粉乳 <sup>3</sup>	チェダー チーズ <sup>4</sup>	
<b>年次(1~12月)</b>					
2013年	4 784	4 148	4 730	4 563	141
2014年	4 278	3 606	3 854	4 542	130
2015年	3 306	2 089	2 537	3 076	87
2016年	3 473	1 986	2 481	2 807	83
2017年	5 641	2 011	3 163	3 664	108
2018年	5 587	1 834	3 060	3 736	107
2019年	4 443	2 440	3 186	3 435	103
2020年	3 844	2 606	3 041	3 506	102
2021年	4 995	3 181	3 855	3 850	120
2022年	6 608	3 865	4 253	4 998	150
2023年	5 100	2 693	3 327	4 486	124
<b>月次</b>					
2023年5月	5 058	2 731	3 423	4 312	122
2023年6月	5 167	2 730	3 402	4 177	120
2023年7月	5 062	2 607	3 418	4 191	119
2023年8月	4 825	2 470	3 090	4 121	114
2023年9月	4 736	2 430	2 995	4 040	112
2023年10月	4 994	2 642	3 229	3 976	115
2023年11月	5 412	2 778	3 324	3 913	116
2023年12月	5 644	2 773	3 418	3 968	119
2024年1月	5 827	2 714	3 507	3 911	119
2024年2月	6 078	2 721	3 556	3 961	121
2024年3月	6 233	2 632	3 435	4 223	124
2024年4月	6 312	2 568	3 459	4 202	124
2024年5月	6 549	2 605	3 577	4 232	126

<sup>1</sup> バター: 乳脂肪 82%、FOB オセアニア・EU、平均表示取引価格

<sup>2</sup> 脱脂粉乳: 乳脂肪 1.25%、FOB オセアニア・EU、平均表示取引価格

<sup>3</sup> 全脂粉乳: 乳脂肪 26%、FOB オセアニア・EU、平均表示取引価格

<sup>4</sup> チェダーチーズ、最大水分 39%、FOB オセアニア・EU、平均表示取引価格

注: FAO 乳製品価格指数は、国際的に取引されている EU とオセアニアの代表的な乳製品の貿易加重平均から算出される。

FAO 乳製品価格指数によって測定される国際乳製品価格は、今年1～5月に6.2%上昇し、指数は1年前から3.5%上昇した(表2)。世界的に安定した輸入需要に加えて、小売と外食産業の売り上げの改善と、欧州連合(EU)など主要生産地域における在庫の減少を反映して、今年1～5月の5か月間でバターとチーズの価格は大幅に上昇した。また、全粉乳価格は、中国の輸入ペースが鈍化したにもかかわらず、中近東と北アフリカの主要輸入国の購入が堅調であったことから、緩やかに上昇した。一方、同時期の脱脂粉乳は、世界的な輸入需要の低迷によって下落した。

## 【ニュースリリース】(\*2)

### 主要食料品と肥料市場は比較的落ち着くが、食品輸入価格の上昇の可能性も

FAOの最新の予測では、主な食料の生産の2024～2025年の見通しは良好であるものの、異常気象、地政学的緊張の高まり、急激な政策変更などの要因すべてが、世界の微妙な需給バランスや価格、世界の食料安全保障に影響を及ぼす可能性があるとしている。

コメと油糧種子の世界生産量は記録的な水準になると予測されているが、小麦とトウモロコシの生産量は緩やかに減少する可能性がある。

2024年の世界の食料輸入額の暫定推計値は、2.5%増加して2兆ドルを超えると予測されている。

報告書では、輸送コストの上昇が食料輸入額に及ぼす影響についても述べている。これは、黒海と紅海のルートでの紛争や、パナマ運河への干ばつの影響によるものであり、短期的には食料純輸入途上国には大きな影響を与える。

最新の報告書には、肥料に関する特別な章もあり、2021～2023年の世界の肥料貿易の動向と2024～2025年の短期的な市場見通しを述

べている。ウクライナ紛争を含め、窒素、リン、カリウムなどの三大養分に直接的または間接的に影響を与えた一連の打撃を追跡している。天然ガス価格の高騰が主な原因となり、肥料生産が経済的に成り立たなくなった一方で、輸送費と保険料などの他の要因や貿易措置も世界の肥料価格を押し上げた。この価格上昇は2022年の肥料貿易の大幅な縮小につながったが、2023年には2021年と同程度の水準に回復した。

窒素、リン、カリウムの肥料価格は、2022年4月にはトン当たり平均815ドルだったのに対し、2024年4月は327ドルだった。価格の低下に伴い、肥料貿易量は回復し、窒素の貿易量は2021年の水準に近づいている。

### FAO「食料アウトLOOK」とは

年に2回発行され、穀物、植物油、砂糖、肉、乳製品、魚など、世界の主要な食料品の市場需給の動向をFAOが検証している。また、食料品の先物市場や輸送コストの動向についても言及している。

### 参考資料:

(\*1)<https://openknowledge.fao.org/handle/20.500.14283/cd1158en> Food Outlook. June 2024. Food and Agriculture Organization of the United Nations.

(\*2)<https://www.fao.org/newsroom/detail/fao-foresees-a-stable-outlook-for-most-food-commodity-markets-in-2024-25/en>  
FAO foresees a stable outlook for most food commodity markets in 2024/25

(資料閲覧:2024年6月13日)

(Jミルク 国際グループ)